

小学校国語科における指導改善のポイント

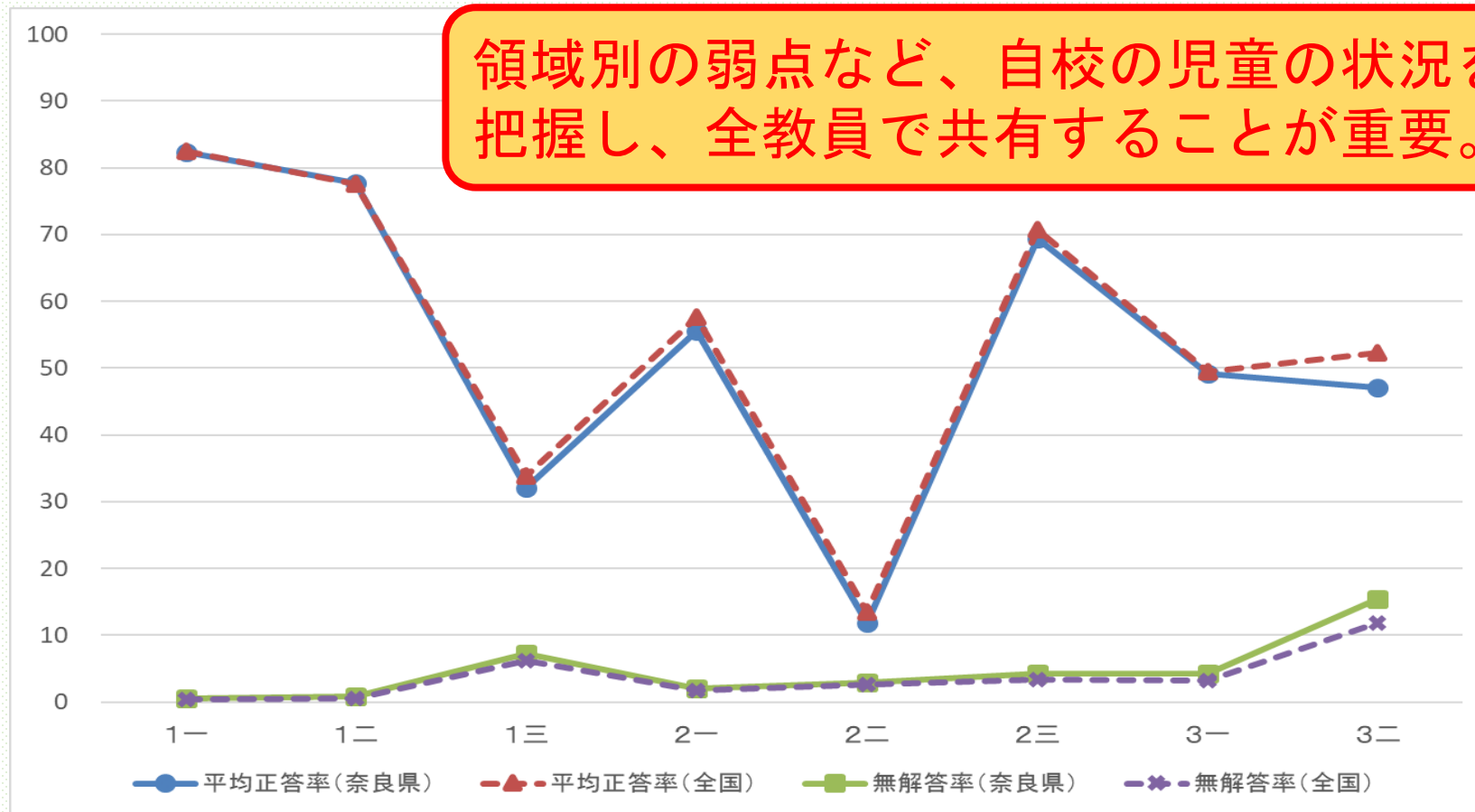
奈良県教育委員会事務局学校教育課

指導主事 川西 聡弘

E-mail : kawanishi-toshihiro@office.pref.nara.lg.jp

1. 奈良県の調査結果について

全国学力・学習状況調査 小学校国語B 平均正答率と無解答率



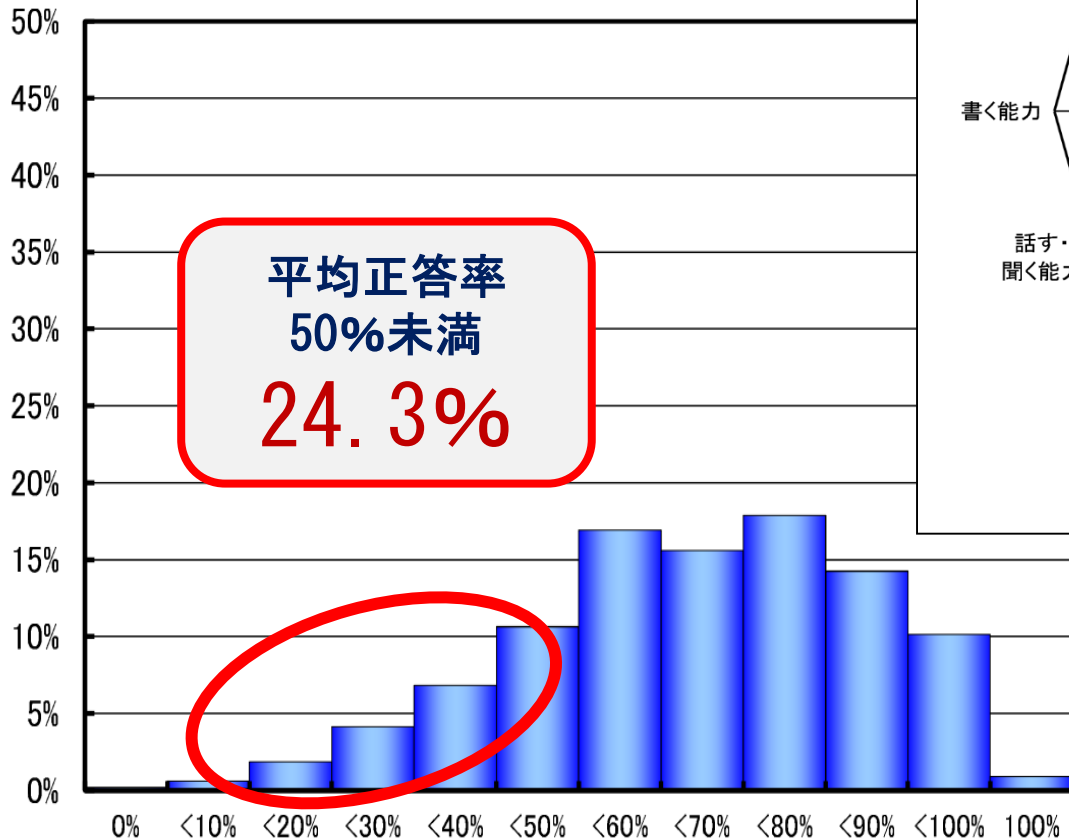
後半の設問になるにしたがって、全国平均と比べて、平均正答率とともに無解答率が増える傾向が見られる。

1. 奈良県の調査結果について

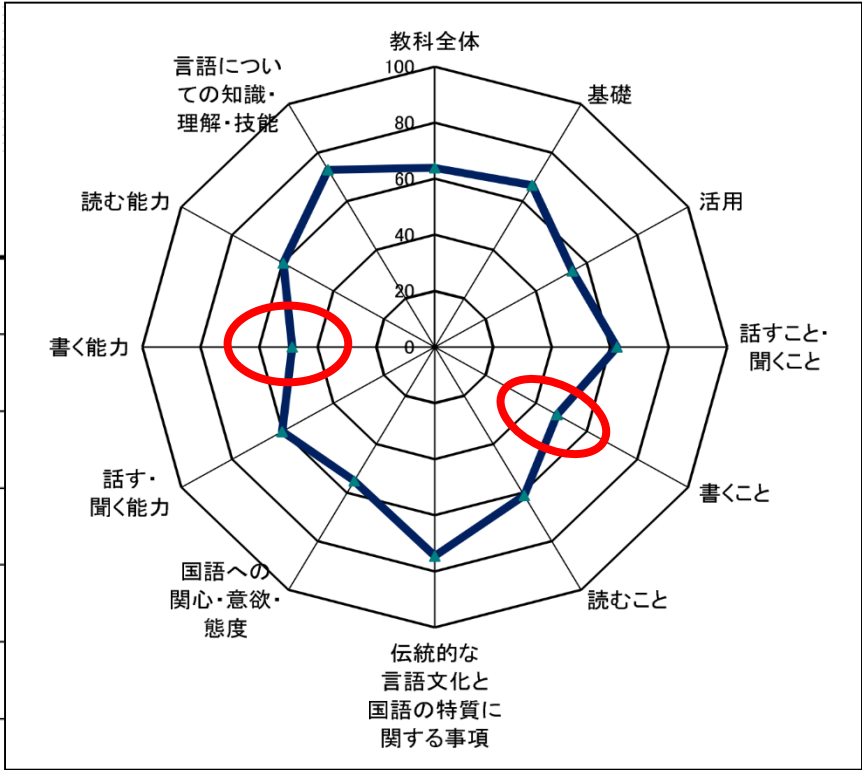
奈良県学力・学習状況調査（中学1年生） 調査結果

平均正答率
63.9%

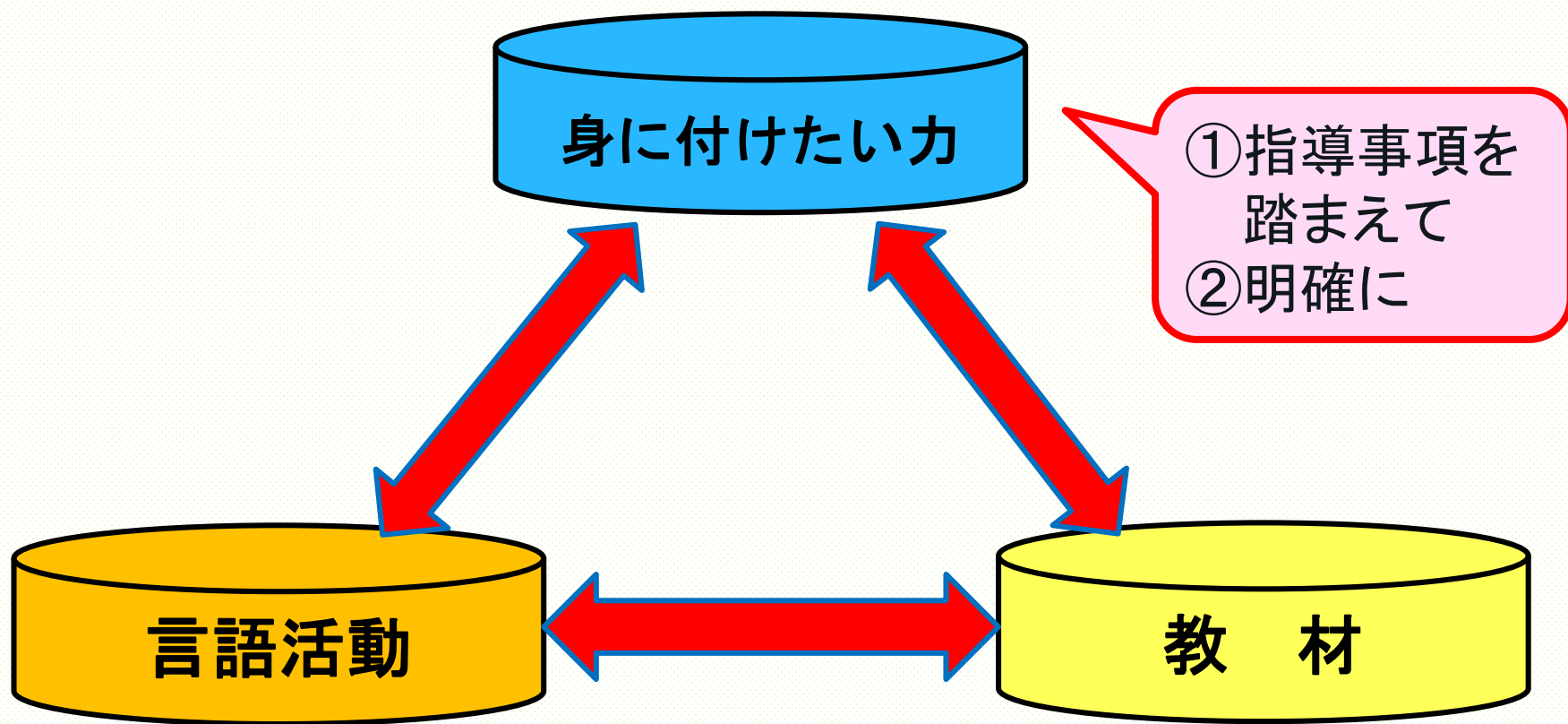
★正答率度数分布



平均正答率
50%未満
24.3%



単元を構想する上で重要な視点
～三者の有機的な関連付け～



2. 指導改善のポイント

報告書の活用

国語B① 言葉の使い方を見直すために、話し合う

出題の趣旨

互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合うことができるかどうかをみる。

出題の趣旨

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 調べたことやまとめたことについて

出題の趣旨

互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合うことができるかどうかをみる。

設問一

趣旨

話し合いの参加者として、質問の意図を捉え

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 互いの立場や意図をはっきりさせなが、計画的に話し合うこと。

学習指導要領における領域・内容

1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
①	1 1 と解答しているもの		
	2 2 と解答しているもの		
	3 3 と解答しているもの		
	4 4 と解答しているもの		
	99 上記以外の解答		
0	無解答		

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 互いの立場や意図をはっきりさせなが、計画的に話し合うこと。

= 指導事項

(平成30年度全国学力・学習状況調査 報告書 小学校国語)

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

話し合いの参加者として、質問の意図を捉える

〔第五・六学年 A 才〕

一 【話し合いの様子の一部】の★木村さんは、何のために質問をしたと考えられますか。

- 1 発表の中で自分が聞きのがしたことをもう一度聞くため
- 2 相手の考えの中で最も伝えたいことをたずねるため。
- 3 相手の考えとその理由のつながりを明らかにするため
- ④ 具体的な例がほかにもあるかを確かめるため。

捉える 計画的に話し合うために、司会の役割について
〔第五・六学年 A 才〕

二 【話し合いの様子の一部】の司会は——部のように発言することによって、この話し合いの中でどのような役割を果たそうとしていると考えられますか。

- ① 話し合うことを明確にするために、三人の立場と理由を整理しようとしている。
 - 2 立場を明確にして話し合うために、最もよい考えを選出そうとしている。
- (解答類型 2) 14・2%

司会の発言の意図を捉えることができている。

正答率

77.7%

奈良県
77.7%

正答率

82.6%

奈良県
82.3%

2. 指導改善のポイント

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

設問三 出題の趣旨

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べる
などして考えをまとめる〔第5・6学年 A 工〕

言葉の使い方について、話し合いの中で出された意見を基に、自分の考えをまとめる。

<条件>

- ①北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、取り上げたことに対してどう考えるのかを書く
- ②「これから言葉をどのように使っていきたいか」について書く
- ③80字以上、100字以内にまとめて書く

正答率

33.9%

奈良県
32.1%

- (条件)
- の金子さんや青木さんのように、代表で発表した北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、その取り上げたことに対してどう考えるのかを書くこと。
 - ◇司会が認めているように、「これから言葉をどのように使っていきたいか」について書くこと。
 - 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【話し合いの様子の一部】

北川 私も、言葉はみだれていると思います。なぜなら、言葉を省略して話す人が多いからです。例えば、「今年もよろしくお願ひします」を「ことよろ」と言うことがあります。省略すると相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。	小池 私は、言葉はみだれていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」のように、あとに打ち消しの言葉がくるときに使うことが多いのですが、最近では、「全然大丈夫」という使い方をする人もいます。また、詩音によると、あとにくるのが打ち消しの言葉に限らない時期もあったそうです。このように、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今までとはちがう使われ方だとしても、言葉がみだれているとは思いません。	解答の見本	金子 この言葉は確かに多いと思 味を調べてみたいと思います。 そのような使い方をしても、 ながら言葉を使っていこうと 思います。	青木 松山 ◇司会 金子さんや青木さんは、これから言葉をどのように使っていきたいかについて話していました。みなさんも、そのことについての自分の考えも話してください。
---	---	-------	---	---

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

意見と理由を聞き取るう

話す・聞く

♦ に行っているところとちがうところを考えながら、意見と理由を正しく聞き取る。

人の意見を正しく理解するためには、その人がどう考える理由にも目を向けることが大切です。田中さんたちは、ボランティア活動としてケアハウスを訪問することにしました。ケアハウスで生活するお年寄りに喜んでもらうために、何をするか話し合っています。田中さんは、授業で取り組んだ音読げきをみて楽しんでもらいたいと考えました。次の四人は、どのように考えているか、メモを取りながら聞きましよう。

田中さんのメモ



川島 みんなで合唱をするのがいいと思います。それは、ぼくたちの合唱を聞いてもらったり、いっしょに歌ったりして、楽しんでもらいたいからです。楽しい音楽を聞いたり歌ったりすると、気持ちが明るくなりますよね。だから、合唱がいいと思います。

理由	意見
・楽しんでもらいたい ・気持ち明るくなる	・合唱

お年寄りに楽しんでもらえるのは、音読げきだけじゃないな。

石川 かるたやすごろくなどでいっしょに遊ぶのはどうですか。そうすれば、昔、友達と遊んだことを思い出して楽しんでもらえると思うからです。お正月に家族でかるたをして遊んだら、祖父母がそう言って、とても楽しんでいました。

理由	意見
・昔思い出して楽しんでもらえる	・かるた やすごろく ・いっしょに遊ぶ

確かに、いっしょに遊ぶのも楽しんでもらえるだろうな。

竹田 楽しんでもらうために何かをするのもいいけれど、ぼくは、生活の役に立つことをするのがいいと思います。そのために、ケアハウスのそうじを手伝うのがいいと考えました。住んでいるところがきれいになったら気持ちがいいので、喜んでもらえると思います。

理由	意見
・きれい ・気持ちいい	・ケアハウスのそうじ ・手伝う

そうじなら、ぼくたちにもお手伝いできるかもしれないな。

森山 わたしは、本の音読がいいと思います。読書のお手伝いができて、役に立てるからです。近所のおばあさんが、小さい文字が見えにくくなり、本や新聞が読めなくなつて残念がっていました。そこで、わたしが声に出して読んであげたところ、とても喜ばれましたよ。

理由	意見
・役に立てる	・本の音読 ・読書のお手伝い

音読が、読書のお手伝いになるなんて考えつかなかつた。

五年「意見と理由を聞き取るう」(東京書籍)

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

五年「意見と理由を聞き取ろう」(東京書籍)

〈学習のポイント〉

●聞いてみよう。

- ①教科書256・257ページにある五人の発言について、意見と理由をメモに書きながら聞きましよう。
- ②メモをもとに、理由にも目を向けて五人の考えをくらべ、共通点のあるものを整理しましょう。
- ③整理したことをグループで見せ合い、考えたことを話し合ってみましょう。



田中さんは、四人の考えの中で、自分と共通していると思うものを、次のように整理しました。



調査問題の趣旨と授業における目標との関連



話す・聞く／書く

考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう
自分の考えを明らかにして、話し合おう。
自分たちの考えが伝わるように、提案書を書こう。

明日をつくるわたしたち

●意見を先に、理由を後に話す。

わたしが考える、「自分たちに行き得ること」は、「ちいきとの関わりを深める」ことです。なぜ、このことを考えたかという点、――。



●疑問を分かりやすく伝える。

中川さんに質問です。ぼくも、ちいきとの関わりは大切だと思います。ただ、ぼくたちがちいきの方と接する機会はありません。多くありません。関わりを深めるためにどうしたらよいか、もう少し考えを聞かせてくれませんか。



●自分の立場を明確にして話す。

中川さんの意見に賛成です。わたしは、「人とのつながりを強くする」という話題を考えていましたが、これからの社会という点も考えると、「ちいき」という観点から、人とのつながりを見直すこともできるのではないかなと思いました。



●司会者は、複数の考えの似ているところとちがうところを明確にしながら話を進める。

「ここまでのみんなの考えをまとめます。「ちいき」と「つながり」がキーワードになると思っていますか、どうですか。」



五年「明日をつくるわたしたち」(光村図書)

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

五年「明日をつくるわたしたち」

(光村図書)



このようなやり取りは、多くの場合、なかなか終わりません。たがいに、自分の思いだけを言い続けているからです。
では、次のような言葉を使うと、やり取りはどのようなになるでしょうか。



こんなやり取りをしたり、聞いたりしたことはありますか。

意見が対立したときには

例えば、この単元で付けたい力が児童に付いたのかを確認、評価するために、調査問題を活用する。

2. 指導改善のポイント

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

国語

TYPE
I・II

B①

「言葉の使い方を見直すために、話し合おう」

～相手と自分の意見とを比べて、自分の考えをまとめる～

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題が見られました。そこで、本アイデア例では、相手の意見を踏まえて、自分の考えをまとめることについての指導事例を紹介します。なお、本アイデア例は、第5学年以上を対象としています。

学習活動1 自分の意見と比べながら、友達の意見を整理する

ステップ1【考えをもち】 「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について、自分の考えをもち、話し合いに参加する。

- ・立場：みだれている
- ・理由：「あけおめ」のように、省略した言葉を使う人が多い。



私は、省略した言葉を使う人が多いから、何となく言葉はみだれていると考えたけれど、みんなはどのように考えたのかな。

ステップ2【整理する】 B①の【話し合いの様子の一部】を聞いて、友達の意見を整理し、自分の考えと比べる。
【比べる】

- 田中さん
- ・立場：みだれている
- ・理由：本来の意味とはことなる使われ方をしている言葉がある。
(役不足)

比べて考えたことを整理する際には、児童の実態に応じて、それぞれの発言をメモとして書き残すことも考えられます。

ポイント

- 小池さん
- ・立場：みだれていない
- ・理由：時代によって言葉の使われ方が変わる。
(例) 全然いい

私と立場は同じだけれど、田中さんの理由は、資料に基づいているものなのだな。

小池さんは、私と立場が逆だな。



そうか。省略した言葉を使うと言葉がみだれていると感じたのは、相手や場に合わないことや、意味が分かりにくくなることがあるからなのだな。

- 北川さん
- ・立場：みだれている
- ・理由：省略した言葉
→相手や場に合わない
意味が分かりにくくなる
(例) ことよろ

(平成30年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例 小学校 より)

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

2

六年一組の高野さんの学級では、健康な生活のために「早ね早起き朝ごはん」運動に取り組んでいます。高野さんは、これまでの活動の結果を報告文にまとめ、学級のみんなに伝えることにしました。次は、高野さんが書いている【報告文の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告文の一部】

○「早ね早起き」活動のまとめ

1 成果

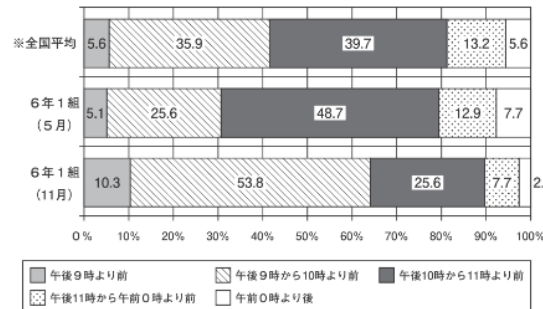
アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていることが分かりました。

（図1）のように、活動を始める前の五月の時点では、「次の日に学校がある日」に夜十時を過ぎて起きてくる人の割合が全国平均を上回り、早ねができていないはいえませんでした。それが半年間の活動後には、夜十時までにねる人の割合が

その理由として、（表1）から、「成長に大事なすいみんを十分にとるために、夜十時までにはねましよう。」という保健室の先生のお話のみんごの心に残ったのだと考えます。他にも、毎日体を動かすように、体育がない日にクラスで外遊びを行う活動や、「健康せんげんカード」に早ね早起きできたかを記録する活動を行ったこともあげられます。

〈図1〉

次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろにねますか。



（※全国平均は、文部科学省「平成26年度家庭教育の総合的推進に関する調査研究—睡眠を中心とした生活習慣と子供の自立等との関係性に関する調査—」に基づく。）

2 課題

成果があった一方、生活のリズムを保つという点で、今回の活動では改善できず、これから解決していきたい課題があることが分かりました。

課題は（図2）から分かるように、

この課題を解決するためには、テレビやゲームの時間、メールなどをする時間、そして「健康せんげんカード」の記録方法について考える必要があることが（表2）から分かります。

3 解決方法

そこで、わたしたちは多くの人を取り組める次のような解決方法を考えました。

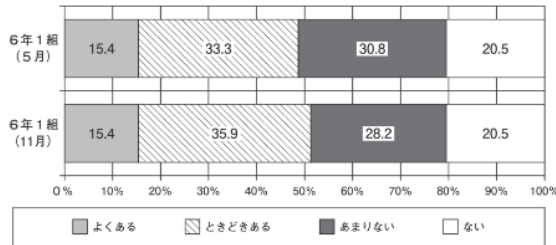
・休みの日にも「健康せんげんカード」に記録をつけるようにする。

今後は、これらの解決方法に取り組んでいきたいと思えます。

○「朝ごはん」活動について

〈図2〉

次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時刻が2時間以上おそくなることはありませんか。



〈表2〉

ねる時刻が2時間以上おそくなる理由は何ですか。（いくつ答えてもかまいません。）（6年1組 11月）

夜おそくまでテレビを見たり、ゲームをしたりしているから。	20人
夜おそくまで友達とメールなどをしてしているから。	14人
休みの日は「健康せんげんカード」に記録しなくてもいいから。	10人
家族のみんなも起きてるから。	4人
その他	7人

〈表1〉

早ねをするようになった理由は何ですか。（いくつ答えてもかまいません。）（6年1組 11月）

保健室の先生のお話から、すいみんが成長に大事だと分かったから。	23人
毎日体を動かしたら、早くねられるようになったから。	14人
「健康せんげんカード」に記録するから。	9人
早ねを毎日続けるようにしたら習慣になったから。	8人
早ねをしたら授業に集中できるようになったから。	5人
その他	11人

2. 指導改善のポイント

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

B2 活動報告文を書く 〈「早ね早起き朝ごはん」運動〉

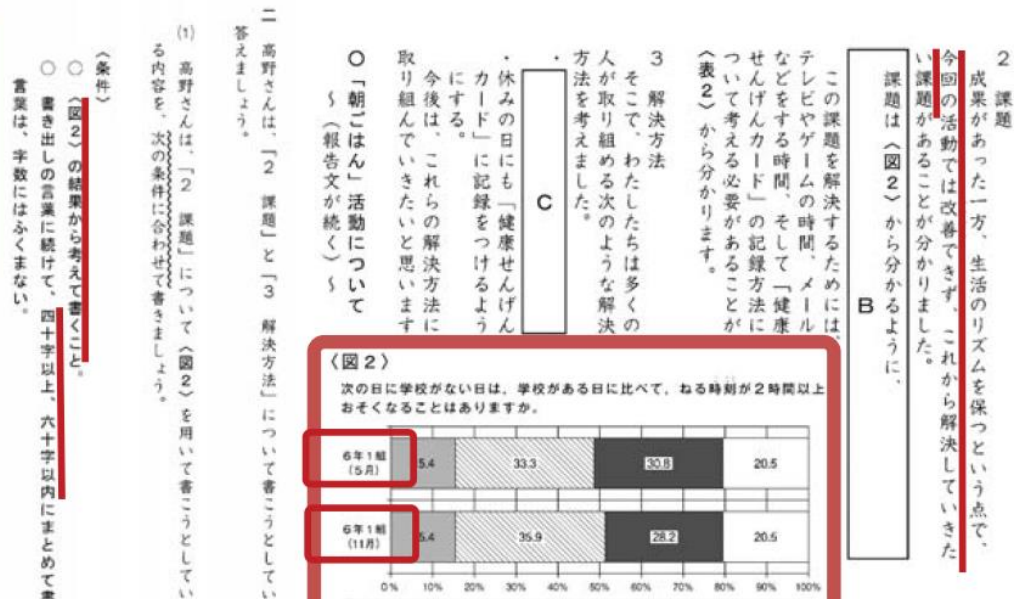
設問二(1)出題の趣旨 目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。
〔第5・6学年〕 B エ

「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く。

正答率

51.5%

奈良県
47.1%

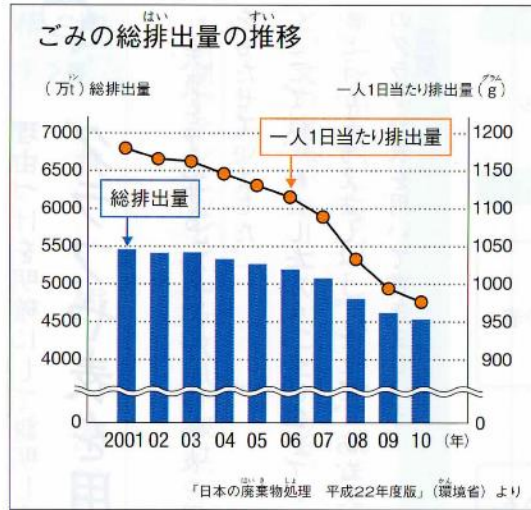
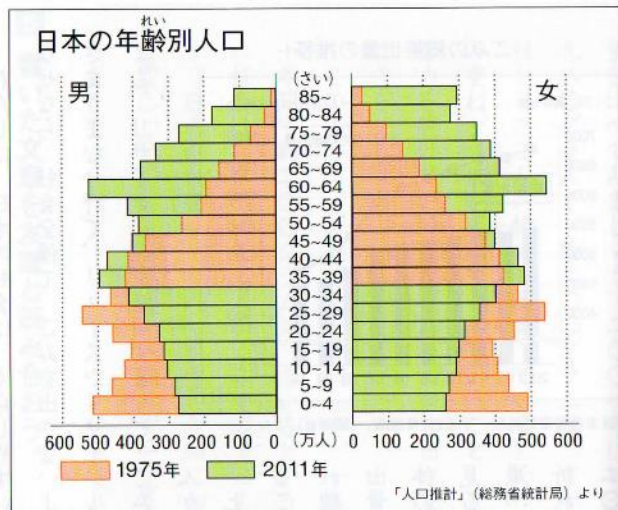


出題の趣旨を確認した上で、授業を実践して児童に付けたい力を付ける。

2. 指導改善のポイント

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

五年「グラフや表を用いて書こう」(光村図書)



平日の生活時間 (平均)

	生理的な活動		社会的な活動		自由時間		
	すいみん	食事など	学業・仕事	通勤など	テレビ・新聞など	その他	
平成二十三年	小学5・6年生	8時間45分	2時間40分	6時間47分	50分	1時間18分	3時間40分
	働く人	7時間12分	2時間44分	8時間7分	1時間52分	1時間33分	2時間32分
平成十三年	小学5・6年生	8時間53分	2時間36分	5時間52分	52分	1時間43分	4時間4分
	働く人	7時間20分	2時間39分	7時間54分	1時間45分	1時間49分	2時間33分

「平成23年社会生活基本調査」(総務省統計局)より

1 自分の考えをもとう。
わたしたちの社会は、くらしやすい方向へ向かっていると思いますか。日々のニュースや、身の回りのことなどから考えましょう。

2 自分の考えに合ったグラフや表を選ぼう。
社会生活に関わる統計資料を集め、読み取って、自分の考えをまとめましょう。
中川さんたちは、次のようなグラフや表を集めてきました。

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

五年「グラフや表を用いて書く」 (光村図書)

量を比べてみましょう。二〇〇一年は約一八〇グラム、二〇一〇年は約九八〇グラムで、約二〇〇グラム減っていることが分かります。家庭や会社からのごみの排出量が減っているということは、個人の小さな努力の積み重ねが成果を上げているということだと思います。このまま社会全体で努力を続けていけば、ごみをあまり出さなくらしに向かっていくことができるでしょう。

このように、グラフをもとにして、一人一日当たりのごみの排出量が、十年間で約二〇〇グラム減っているということを述べました。ごみの少ない社会は、自然にも、人がくらす環境にも、やさしい社会といえるでしょう。日本の社会は、くらしやすい方向に向かっていると思います。

(参考)「日本の廃棄物処理 平成二十二年度版」(環境省ウェブサイト)

ごみの総排出量の推移



「日本の廃棄物処理 平成22年度版」(環境省)より

上のグラフは、家庭や会社から出るごみ排出量を示したものです。折れ線グラフは、一人一日当たりの排出量を表し、ぼうグラフは、日本全体の排出量を表しています。これを見ると、どちらもだんだん排出量が減ってきていることが分かります。折れ線のいちばん高い二〇〇一年と二〇一〇年の一人一日当たりの排出

わたしは、日本の社会は、くらしやすい方向に向かっていると思います。なぜなら、社会全体で、ごみを出さないようになってきているからです。さまざまな分野で、リユースやリサイクルが進んでいます。わたしの周りでも、リサイクル品を活用するなど、ごみを出さないように心がけている人がたくさんいます。

中川 あおい

社会は、くらしやすい方向に向かっている

2. 指導改善のポイント

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

五年「資料を生かして考えたことを書くこと」

(東京書籍)

資料(3)



(2011年/水辺の環境保護団体のホームページより)

資料(4)

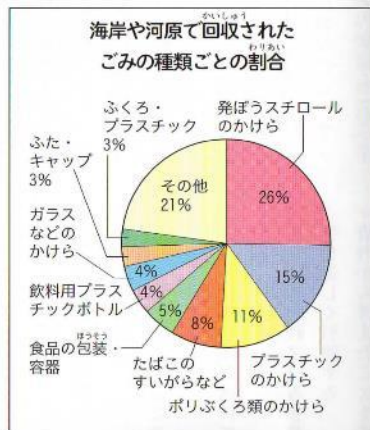


(環境保護団体のパンフレットより)

資料(1)



資料(2)



(2011年/水辺の環境保護団体のホームページより)

木谷さんは、海岸の清そう活動に参加して、海岸の環境保護についてもっと知りたいと思い、資料(1)～(4)を集めました。それぞれの資料からどんなことが分かるか、考えましょう。

1 資料を読んで考えよう。

わたしたちは、調べたことや考えたことを伝えるときに、図表や写真などの資料を利用することがあります。伝えることの内容や目的に合わせて、資料から必要な情報を読み取り、それを活用して文章を書きましよう。

◆ 資料から情報を読み取る。
◆ 読み取った情報を活用して文章を書く。

資料を生かして考えたことを書くこと

書く

資料を読むときには
どんなところに注目す
ればいいのか。

つながる
「新聞記事を読み
事の中の写真の役割
たね。」

調査問題の趣旨と授業における目標との関連

木谷さんの文章

海岸のかん境を守ろう

海に行ったとき、海岸のごみに気づいたことはありませんか
週間前に海岸の清そう活動に参加し、ごみの多さにおどろきま
まず、資料(1)を見てください。これは、わたしが清そう活動を
た写真です。この写真から分かるように、海岸にはプラスチック
ルなどのごみが大量に落ちていました。

次に、資料(2)を見てください。

アこの資料は、

を表し

この資料によると、いちばん多いごみは「発泡スチロール
全体の二十六パーセントをしめています。また、プラスチックの

りぶくろ類のかけら」も多いことが分かります。つまり、全国
いるごみの多くは、わたしたちの生活に関わるごみなのです。

さらに、資料(3)を見てください。この資料は、資料(2)のごみ
います。

イこの資料によると、

このように、海岸にはわたしたちの生活から出たごみごと
ており、そのごみを捨てるにはたくさんの人たちの力が必要とな
かん境を守るため、決まりを守ってごみをすてるように、毎日
かけていきましょう。

五年「資料を生かして考えたことを書く」

(東京書籍)

例えば、この単元で付けたい力を見童に確認させるために、単元の導入で調査問題を活用する。

〈国語科をはじめ、
全ての教科等における言語活動の充実〉

言語能力の育成を図るため、各学校において必要な言語環境を整えるとともに、国語科を要としつつ各教科等の特質に応じて、児童の言語活動を充実すること。

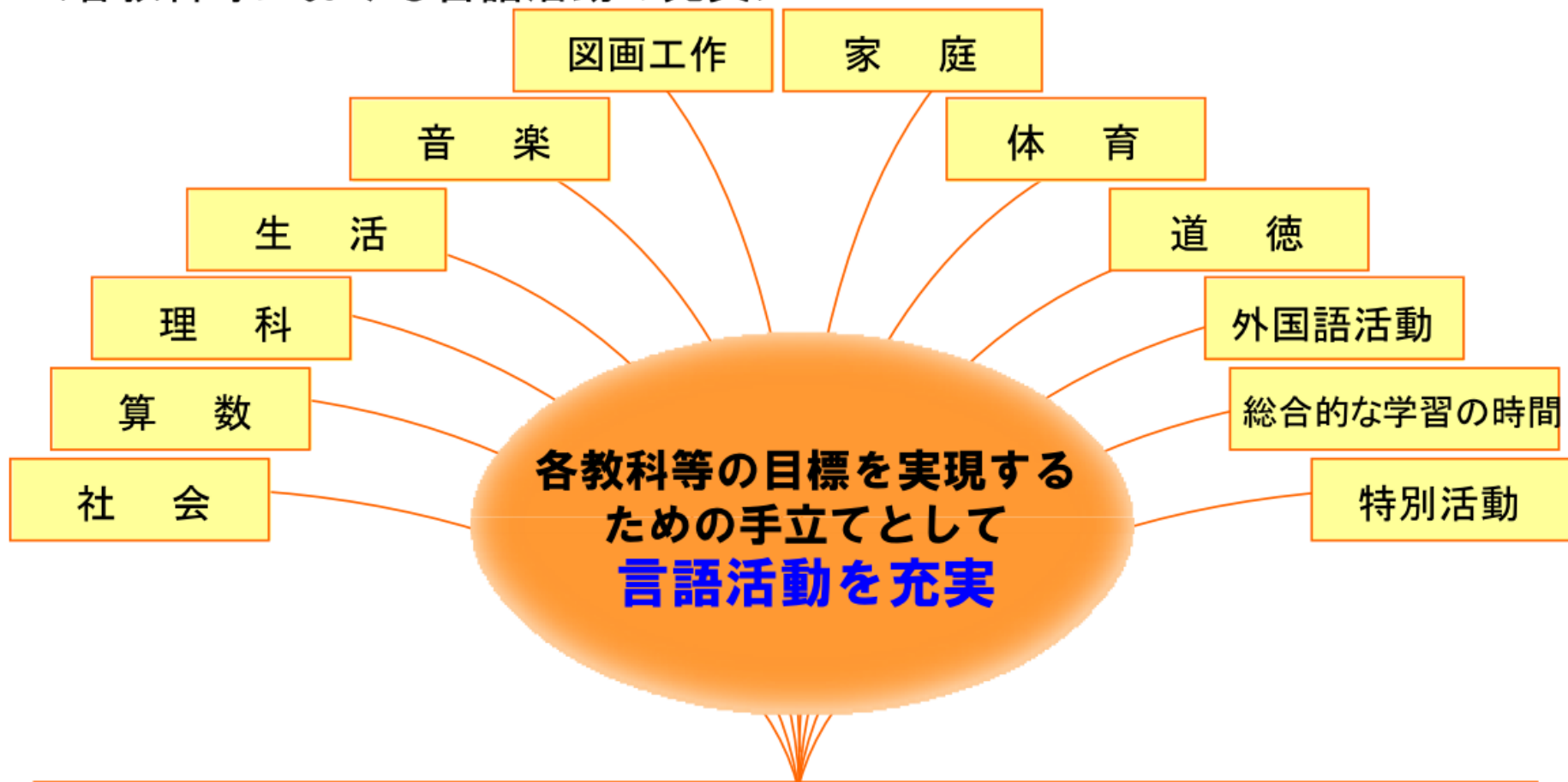
(小学校新学習指導要領 総則)

児童に育成を目指す資質・能力を定着させるため

- 国語科で身に付けた資質・能力を、**各教科等で言語活動を通して**定着させる。
- 全ての教科等で、「本時(本単元)の目標を達成するには、**どのような言語活動が効果的か**」を考えて実践する必要がある。

3. 児童の資質・能力の育成と定着のために

〈各教科等における言語活動の充実〉



国語科：基本的な国語の力を定着させたり，言葉の美しさやリズムを体感させたりするとともに，発達の段階に応じて，記録，要約，説明，論述といった言語活動を行う能力を培う

文部科学省「言語活動の充実に関する指導事例集」【小学校版】より

3. 児童の資質・能力の育成と定着のために

語彙を豊かにする指導の改善・充実に向けて

「言葉の宝箱」 (光村図書) 二年～六年



言葉の宝箱 たから

人物について説明するときや、感想を伝えるときに使う言葉を集めています。他にも、教科書や友達との表現の中で、使ってみたいと思う言葉に出会ったら、自分の表現に生かしていきましょう。

どんな人物かを表す言葉

- 楽観的
- 悲観的
- 積極的
- 消極的
- 論理的
- 感情的
- 熱意のある
- 率直
- まっすぐ
- おだやか
- 誠実
- 温かい
- するどい
- 気難しい
- えんりよがち
- 未熟
- に明るい
- に強い

どんな物や事がらかを表す言葉

- 適切
- 好ましい
- にかなう
- にふさわしい
- 不都合
- 不つり合い
- 不確か
- あいまい
- 現実的
- 理想的
- さも—のように
- いかにも—のように
- 共通
- 同一
- 共通
- に近い
- に類する
- 具体的
- 抽象的
- 具体的
- 現実的
- きつと
- もちろん
- おそろく
- やはり
- 鼻につく
- ぐらつく
- ためらう
- なごりおしい
- 心残り
- 後悔
- 味気ない
- くじける
- 失望

感情を表す言葉

- したう
- あこがれる
- 好感をもつ
- かんめいを受ける
- 心にひびく
- 圧倒される
- 我を忘れる
- 痛快
- こちよい
- 晴れやか
- 胸をふくらませる
- 待ち望む
- 意気こむ
- くつろぐ
- 気が楽になる
- かたの荷が下りる
- くすぐったい
- 顔から火が出る
- そわそわする
- おろおろする
- 気がかり
- 気が気でない
- もどかしい
- ふさぐ
- 切ない
- たまらない
- なやましい
- わずらわしい
- 嫌気が差す
- むっとする
- 鼻につく
- ぐらつく
- ためらう
- なごりおしい
- 心残り
- 後悔
- 味気ない
- くじける
- 失望